

自治体の課題、現状

鉾田市の人口については、年少人口(15歳未満)が大きく減少し 割合が11.1%まで低下しており、一方老年人口(65歳以上)は、大きく増加し、割合は30.2%になっている。この割合は県内の平均と比較しても高い状況である。人口減少は様々な活動に影響が出ており、例えば鉾田市スポーツ少年団においては、平成25年度には38団あったが、令和6年度は23団と減少している。

地域移行の課題としては、指導者の確保や地域クラブ活動の運営団体の確保が課題である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

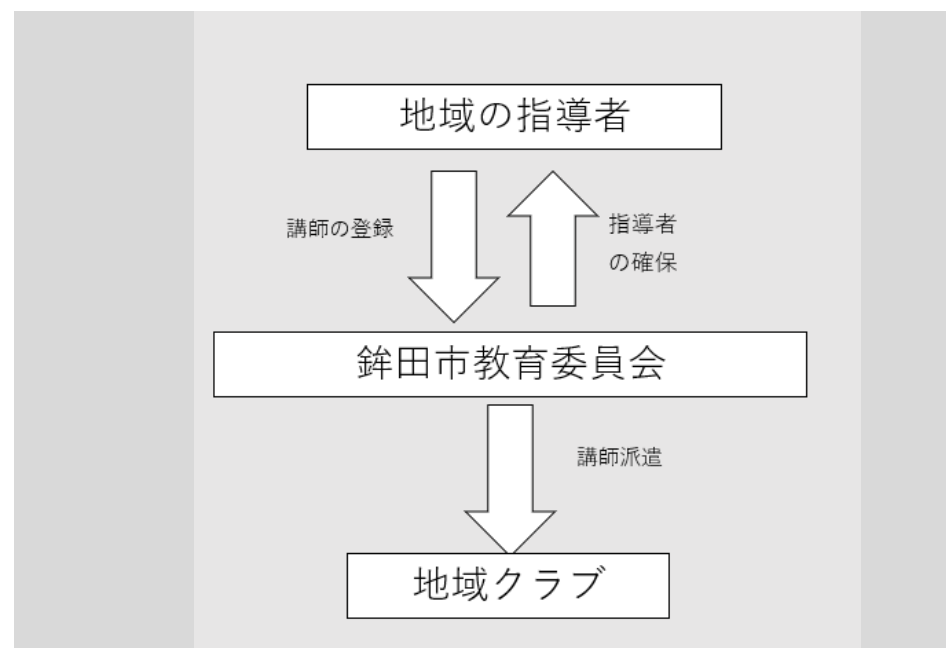
中学校数	4 校	全生徒数	933 人
域内の部活動数	51 部	実施した地域クラブ数	3 クラブ
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	0 人
主な運営団体	鉾田市教育委員会		
主な種目	軟式野球、サッカー、フラッグフットボール		
平均的な活動回数	3～4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：1人/クラブ 2年：18人/クラブ 1年：3人/クラブ
参加会費	0 円	主な活動場所	市内中学校 他

地域移行関連の取組、成果

鉾田市では、既存の合同部活動を指導している顧問及び外部コーチが地域クラブの指導者として従事しており、練習場所については学校施設、備品についても部活で使用しているのを活用し、実証事業に取り組んだ。

合同部活動から、地域クラブに移行する際に、指導方法によって生徒が混乱せず行えた。外部コーチと各学校の顧問が兼職兼業の許可を得て指導者となることで、部活動からスムーズに地域クラブ活動を実施できた。また、部活動にない種目としてフラッグフットボールを実施することができ、生徒に多様な種目としてふれる、機会が創出できた。

運営体制図



自治体の課題、現状

令和6年度、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。地域移行該当部は教員主体で土日に練習のみの日は設けないこととした。練習の日程等の連絡はスポーツクラブみらいホームページ予定表により確認することとした。急な連絡はスポーツクラブみらいと各学校、市教育委員会が連携する場合もあった。

課題は、少子化による小規模化により団体競技のチーム編成ができず、部活動の再編成が必要であること、専門性や意志に関わらず顧問を務める先生の指導体制がまだ残っていること、練習場所がこれまでの通学していた中学校以外の場所で活動が行われる場合があること等である。また、練習試合や大会の場合、各学校顧問または部活動指導員が引率することとなっている。これでは、教職員に頼る現状がある。これらの課題を解決するため、令和7年度以降も部活動改革が必要である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,469人
域内の部活動数	48 部	実施した地域クラブ数	3 クラブ
全体の指導者数	12 人	全体の運営スタッフ数	2 人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ スポーツクラブみらい		
主な種目	卓球 バドミントン 剣道		
平均的な活動回数	1~3回/月	所属生徒実数	107人
参加会費	0円/年	主な活動場所	市内各中学校 公民館

地域移行関連の取組、成果

<部活動地域移行連絡協議会 学校との連携>

- ・令和6年5月21日及び12月5日に市教育委員会において、つくばみらい市部活動地域移行連絡協議会を実施した。
- ・つくばみらい市中体連に市職員が参加し、部活動の地域移行の方向性を説明した。

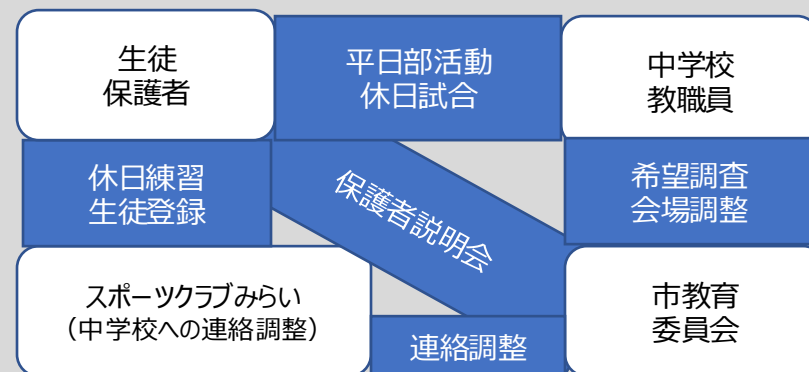
<保護者対象の部活動地域移行説明会>

- ・令和6年6月26日伊奈東中学校区、小絹中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。
- ・令和6年6月27日伊奈中学校区、谷和原中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。
- ・令和6年7月17日伊奈公民館、7月18日谷和原公民館において、小学校高学年5年生6年生の保護者を対象に部活動の地域移行説明会を実施した。

<スポーツクラブみらいによる指導者講習会>

- ・地域クラブ指導者に対しては、スポーツクラブみらいが主体となり、安全面・指導面に関する研修を2回実施した。
- ・スポーツクラブみらいのマネージャーが各指導者の意見を聞いたり、現場に訪れたりして連携が取れるようにしていた。

運営体制図



自治体の課題、現状

○本市においては、中学校・義務教育学校が4校あり、生徒数1,180人で37部活が活動している。その中でも運動部の団体競技では、部員不足により単独校でチームが編成できず、合同チーム又は拠点校により、大会に出場している種目も出てきている。また、中学校等の生徒数は減少傾向にあり、令和14年度以降は200人超の大幅な減少が見込まれている。

○それらを踏まえ、既存の学校部活動の見直しを始め、地域の実態や生徒のニーズに合わせた、多様なスポーツ環境を構築していく必要がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,180人
域内の部活動数	37部	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：7人/クラブ 2年：8人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	・玉里海洋センター ・小川北義務教育学校 ・小川南中学校 ・美野里中学校

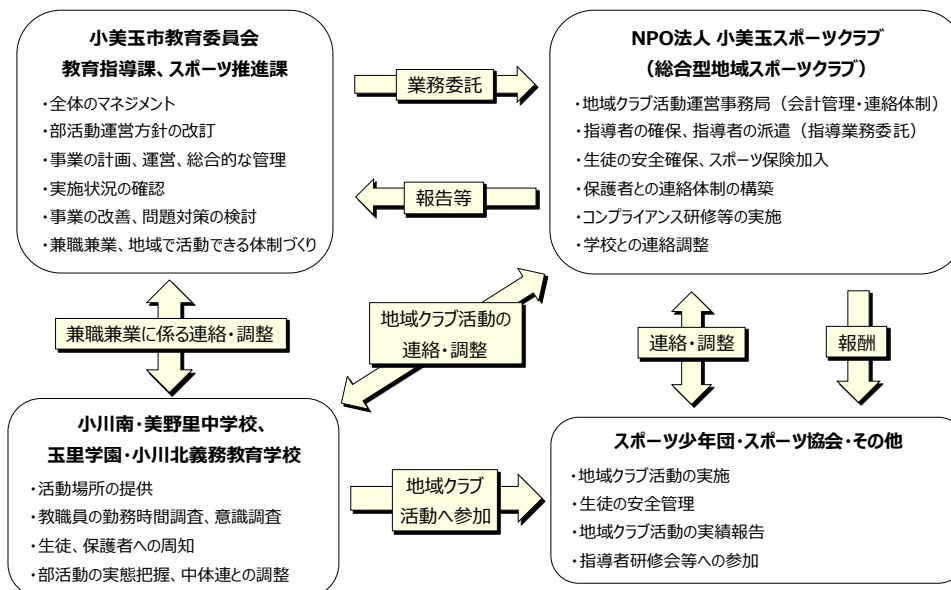
地域移行関連の取組、成果

○令和5年度は3年生の部活動引退後の12月から地域クラブ活動を実施したが、令和6年度は4月から地域クラブ活動を実施したことで1～3年生を対象に、休日の部活動の地域移行に取り組むことができた。

○小学校及び中学校・義務教育学校の児童・生徒に「休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせするチラシ」を配布し、保護者や地域クラブ活動に関わっていない方々にも、認知・周知を広げることができた。

○休日の地域クラブ活動を実施している剣道は、令和7年度から拠点校部活動に移行し県中学校体育大会へ出場することが可能となったことで、他の学校からも生徒が参加できるかたちに整えた。

運営体制図



自治体の課題、現状

○地域全体の課題は、人口減少に伴って生徒数が減少していることである。従来は、部員が維持できずに廃部や休部になった活動があった。

○地域移行の取組の現状は、令和5年度よりサッカーをモデルケースとして、休日における部活動を「茨城町FCジュニアユース」に移行した。本年度は、中体連主催の新人体育大会に初めて地域クラブとして参加した。

○地域移行を進める上での課題は、地域クラブの立ち上げや地域クラブを運営する任意団体の設立、指導者となり得る地域人材の発掘などが挙げられる。また、練習会場や楽器の確保も大きな課題となっている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

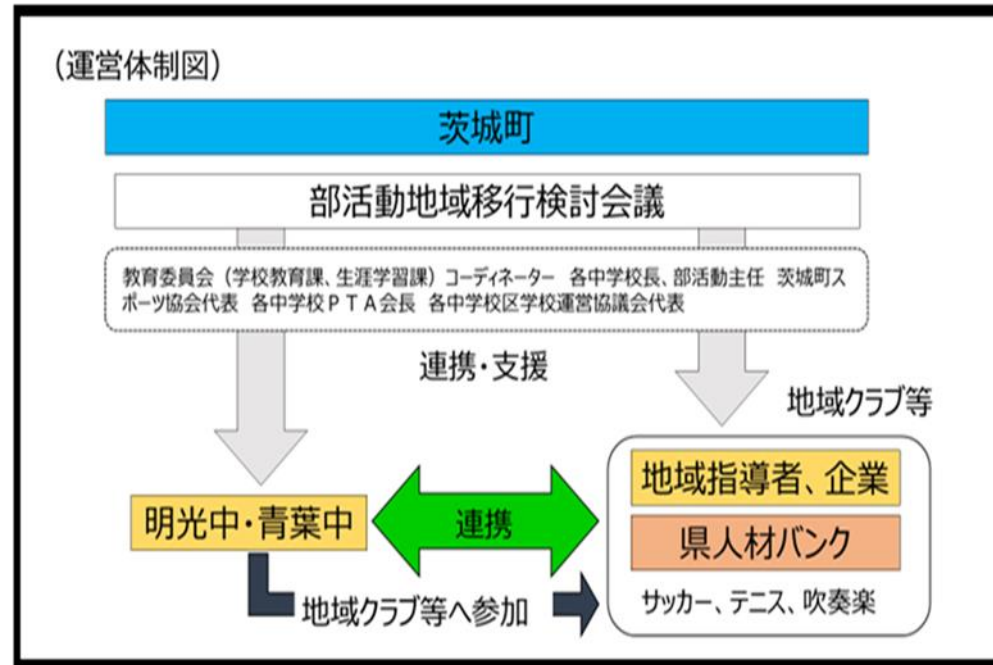
中学校数	2校	全生徒数	668人
域内の部活動数	25部	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	サッカー 14人 ソフトテニス 平均5人/回	全体の運営スタッフ数	サッカー 2人 ソフトテニス 3人
主な運営団体	サッカー 地域のクラブチーム ソフトテニス 企業（株式会社トヨタモビリティパーツ茨城支社）		
主な種目	サッカー ソフトテニス		
平均的な活動回数	サッカー 月8回程度 ソフトテニス 月1回程度	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：50人/クラブ 1年：50人/クラブ
参加会費	サッカー年12,000円 ソフトテニス 無料	主な活動場所	町運動公園 明光中・青葉中

地域移行関連の取組、成果

○茨城町FCジュニアユースとして参加した新人体育大会では、支部大会（東茨城郡新人体育大会）と地区大会（中央地区新人体育大会）で優勝、県大会でベスト8という好成績を収めた。

○ソフトテニス教室の最終回（12月7日）に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど、満足度が非常に高いイベントになった。また、毎月のソフトテニス教室を楽しみにしている声も寄せられており、参加した中学生にとってソフトテニス教室が毎回、質の高い内容を提供していたといえる。

運営体制図



自治体の課題、現状

部活動の地域移行の現状と課題

城里町では、「城里町地域クラブ活動推進協議会」を令和4年3月に策定し、令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間と定め、地域移行可能な休日の部活動から段階的に地域移行を行っている。

運営主体となる地域クラブについては、町からの業務委託により城里町スポーツ協会が運営しているが、地域移行を進めるうえで、質・量ともに十分な指導者の確保が大きな課題となっている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	351人
域内の部活動数	15部	実施した地域クラブ数	6クラブ
全体の指導者数	30人	全体の運営スタッフ数	5人
主な運営団体	城里町スポーツ協会		
主な種目	サッカー、女子バスケット、男子バスケット 男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、剣道		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	2年：8人/クラブ 1年：8人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	常北中学校、桂中学校ほか

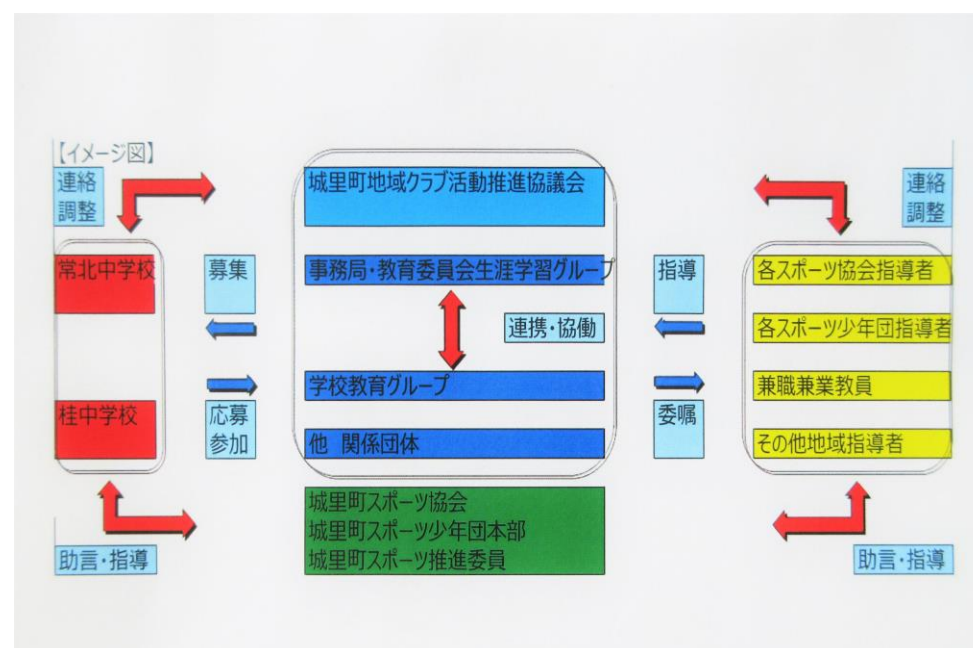
地域移行関連の取組、成果

・参加者管理、参加者・指導者への連絡、会場の確保調整等にICTを活用した。**ICTの活用により、連絡、スケジュール、出欠など情報共有が手軽に行えるようになった。**

・城里町地域クラブ活動推進協議会を開催し、様々な機関・関係者が連携協力しながら取り組みを実施した。

・町スポーツ協会指導者、町スポーツ少年団指導者、学校顧問の先生と連携し、地域の実情を加味した独自のスケジュールを策定し、協議を重ね地域クラブ活動を始動することができた。

運営体制図



自治体の課題、現状

本町の人口は、少子高齢化の影響もあり、人口減少に歯止めがかからない状況であり、町立中学校の生徒数は274人と年々減少の一途をたどっている。そのため、令和7年度には町中心部に位置する中学校に、その他の中学校が統合することになっている。

部活動の地域移行に係る実証事業においては、人口減の影響による指導者の確保の問題、広大な町ゆえの生徒の移動手段の確保、夏季期間における熱中症対策や事業運営主体の確立など複数の課題が確認されている。

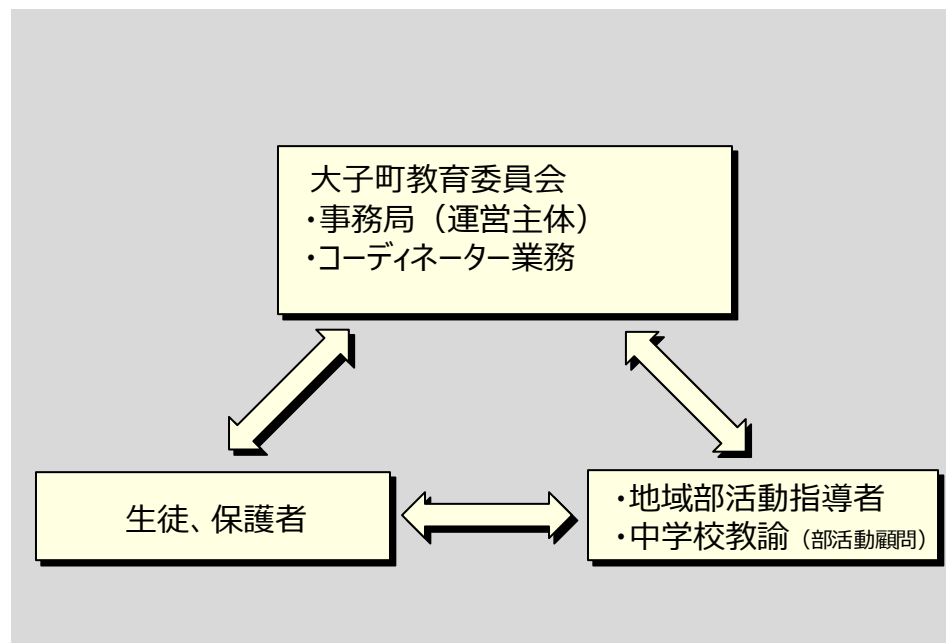
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4 校	全生徒数	274 人
域内の部活動数	11 部	実施した地域クラブ数	2 部活動
全体の指導者数	7 人	全体の運営スタッフ数	2 人
主な運営団体	教育委員会		
主な種目	サッカー部、ソフトテニス部（男女）		
平均的な活動回数	2 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：5 人/部活動 2 年：29 人/部活動 1 年：18 人/部活動
参加会費	0 円/年	主な活動場所	大子広域公園

地域移行関連の取組、成果

- 部活動の地域移行の実証事業については、地域部活動指導者を確保した「サッカー部」、「ソフトテニス部」を先行して事業の対象とした。
- 地域部活動コーディネーターについて、実証事業にあたり、地域部活動指導者と保護者の連絡調整や学校や関係団体の連携推進など、活動の運営に必要な諸業務に対応した。
- 保護者には、活動場所までの送迎の自己負担を理解していただき、全ての参加生徒が円滑に参加することができた。

運営体制図



美浦村の課題、現状

現在、本村の運動部活動は、軟式野球部、サッカー部、ハンドボール部、ソフトテニス部、バレー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、卓球部、剣道部、柔道部が活動している。

少子化に伴い、団体競技である軟式野球については、近隣市の中学校と合同チームによる活動が行われており、昨今の出生者数を見ると軟式野球部はもとより、団体スポーツの将来的な存続は難しいものと考えている。

これらのことから、令和5年12月に部活動地域移行方針が示され、本村では既存部活動の地域移行を進めるとともに、これまでの部活動にはなかった種目の新たなクラブを発足させ、生徒の選択肢が拡大するような地域移行を進めていく。

中学校の概要

公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	274 人
部活動数	13 部活（文化部含む）
部活動種目 （運動部）	軟式野球部、サッカー部、ハンドボール部、ソフト テニス部、バレー部、男子バスケットボール、女子 バスケットボール、卓球部、剣道部、柔道部

地域スポーツクラブ（公認地域クラブ）の概要

発足数	7クラブ
加入生徒数	4 人
種目	乗馬、フィッシング、フリースケート、硬式野球 バレー、総合型（体操等）、ゴルフ

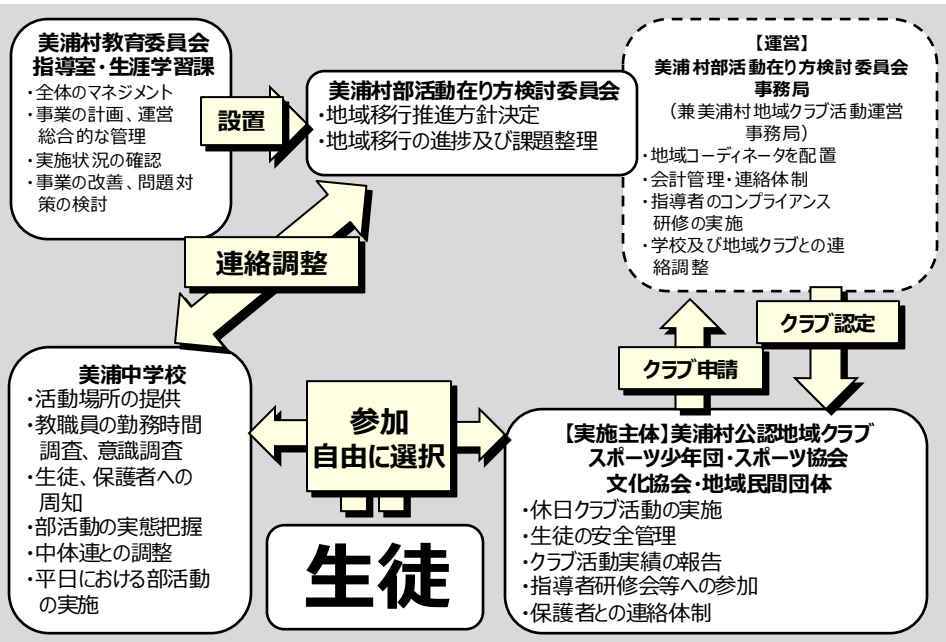
地域移行関連の取組、成果

地域移行を進めるにあたり、固有の地域資源や地域おこし協力隊などの地域人材を活用するなど、美浦村独自で特徴ある地域クラブが発足した。

- ・「競走馬の里」ならではの、馬との共生をテーマとした美浦ホースクラブ
- ・「霞ヶ浦」を活かした美浦フィッシングクラブ

この2クラブは現時点においての加入生徒は4名と少ないが、特徴ある取り組みとして、競走馬及び釣りの業界からも高い評価を受けている。

運営体制図



自治体の課題、現状

阿見町では3中学校（阿見・朝日・竹来）があるが、生徒数や部活動の部員数に差が出ている。近年は部員数の不足により、朝日中学校では野球部の休部、竹来中学校ではバスケットボール部が廃部、サッカー部の合同部活動化（他市町村と）となっている。また、競技経験のない教員が顧問となっている部活動もあり、学校部活動だけでは生徒がスポーツに取り組む持続的な環境を維持することが難しくなっている。

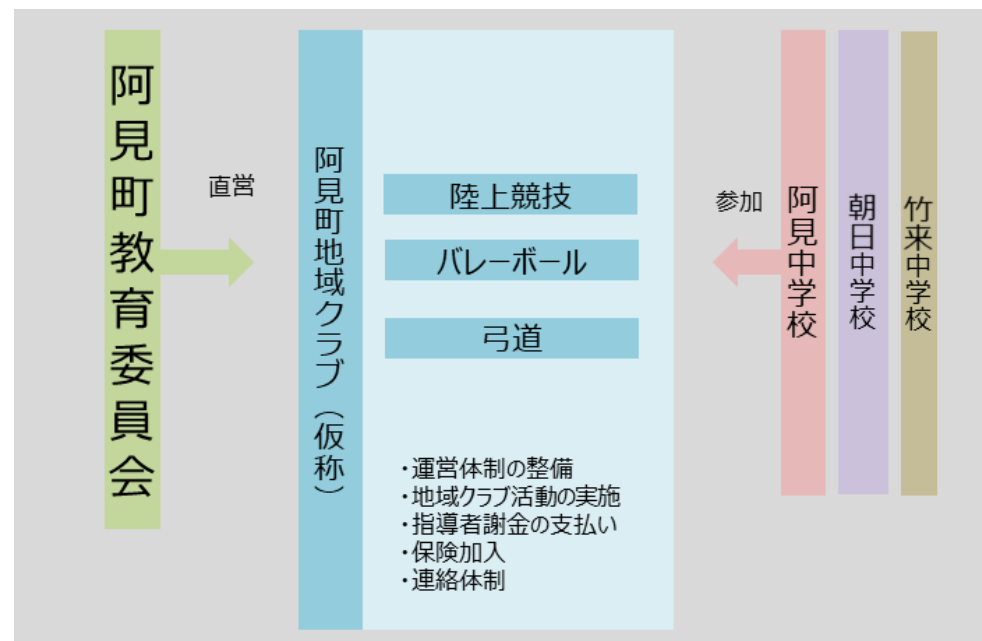
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	1,184人
域内の部活動数	32部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	16人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	教育委員会		
主な種目	陸上競技・バレーボール・弓道		
平均的な活動回数	○陸上競技・バレーボール 4回/月 ○弓道：月1回	年間平均参加生徒実数	3年：0.8人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	阿見中学校 朝日中学校 竹来中学校

地域移行関連の取組、成果

- 部活動地域検討委員会の設置や指導者の募集、モデル事業の実施を通して、阿見町における地域クラブの体制を整備し、活動を開始する。モデル事業の取り組みにより判明した課題を踏まえ、令和7年度以降の地域移行に関する検討や更なる地域移行の拡大を目指す。
- 令和6年度はモデル事業として以下の3種目・パターンで地域クラブ活動を実施した
 - ・講座型地域移行：陸上競技 ・各学校・各種目地域移行：弓道
 - ・拠点校地域移行：女子バレーボール

運営体制図



自治体の課題、現状

本町の中学校生徒数は、平成29年度の637人から令和6年度の502人となり、少子化が進んでいる。さらに、5年後の令和11年度の生徒数は468人となることが推測されており、今後も高い減少率で推移していくものと考えられる。

少子化は部活動の加入数にも影響しており、令和6年度の1・2年生の加入状況を見ると、全生徒数の80%の生徒が部活動に参加しているものの、全体数が少ないことから、一部の団体種目においては学校単位でのチーム編成がすでに困難になっている。

また、近年では学校外のスポーツクラブ等に所属する子どもが増加しているなど、子どもたちを取り巻く環境の変化などが見られ、特に部活動における団体種目のチーム編成にも少なからず影響を及ぼしており、従来の枠組みでの部活動の維持が一層難しくなっている状況である。

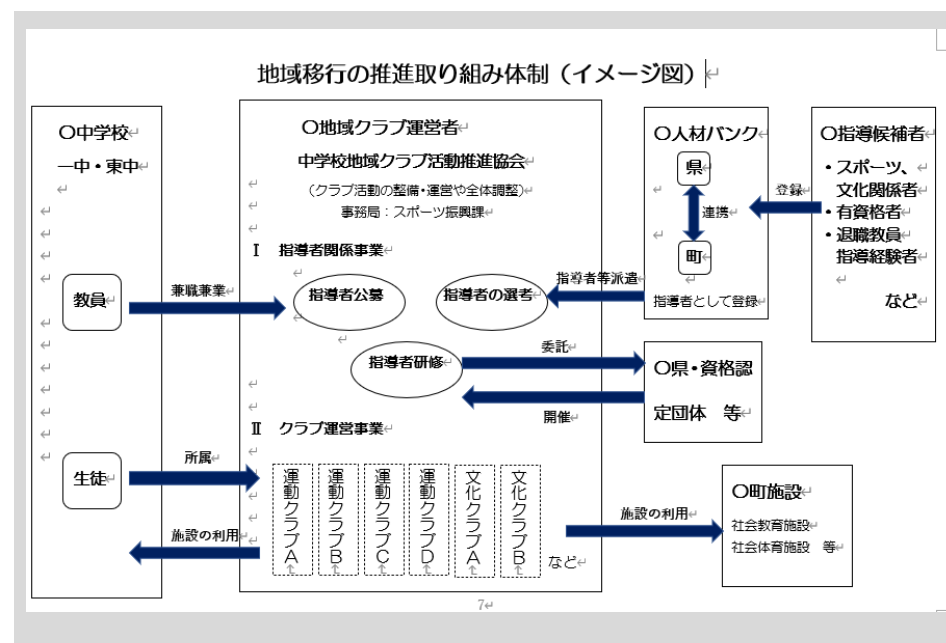
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	502人
域内の部活動数	24部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	8人
主な運営団体	八千代町中学校地域クラブ活動推進協会		
主な種目	サッカー		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：16人/クラブ 1年：9人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	東中学校

地域移行関連の取組、成果

令和6年5月に八千代町中学校地域クラブ活動推進協会を設置し、八千代町中学校部活動地域移行推進計画の策定・地域クラブ運営方針および指導者募集要領要項の決定を行った。推進協会の委員には、町スポーツ関係団体の代表および町内中学校の校長、PTA会長などが所属し、関係団体との連携強化を図っている。指導者人材バンクには、現在24名の登録がある。とくに登録の多かったサッカーについては、学校との連絡調整を行い、教員にも兼職兼業で地域クラブの指導を行ってもらうことで八千代サッカークラブの発足を行うことができた。

運営体制図



自治体の課題、現状

本町においては、約1万5千人が住んでおり、人口減少、少子化により児童生徒数が減少し、平成19年に2校あった公立校は統合により利根中学校の1校のみとなっている。生徒数281人で10部活が活動している。その中でも、部活動によっては試合ができる最小限の人数で活動している部活動が存在している状況である。

今後の課題として、競技志向の強い生徒はクラブチームに加入するなど、部活動に参加する生徒の減少が考えられるため、活動数の削減などを行いスポーツ活動の環境を整備していく必要がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	281人
域内の部活動数	10部	実施した地域クラブ数	12クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	4人
主な運営団体	教育委員会		
主な種目	軟式野球、サッカー、卓球、剣道、男女バスケットボール、バレーボール、男女バドミントン、男女ソフトテニス、身体づくり		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	利根中学校 各小学校体育館

地域移行関連の取組、成果

○取り組みとしては、活動クラブを部活動と同じ種目の数だけ展開することで、平日の部活動と違う種目に参加する。または、部活動と同じ種目のクラブに入ることができるように取り組んだ。

○地域クラブは、「スポーツを体験する・楽しむ」を目標に取り組んでおり、クラブの加入から参加種目まで生徒が考え、クラブ参加することで自由性の高い地域クラブになっている。

○指導者は、地域の経験者及び有識者及び兼職兼業職員。また日本ウェルネススポーツ大学の学生が指導に取り組むことによって、地域と大学が一緒に子どもたちを育むことができる。

運営体制図

